

## 《週報》

第 12 卷第 23 号

第 23 週( 6月 4日~ 6月 10日)

発行年月日: 平成24年(2012年) 6月13日

発 行 : 滋賀県衛生科学センター内

滋賀県感染症情報センター

電話: 077-537-7438 FAX: 077-537-5548

## 今週の感染症発生動向

◆ 腸管出血性大腸菌感染症の発生は、今年になって6例目

◆ 流行性角結膜炎は急増

## ★一類～五類全数報告感染症の発生状況(第23週)

・一類感染症---報告はありません

・二類感染症---結核 7名

・三類感染症---腸管出血性大腸菌感染症 3名(患者 3名、血清型・毒素型: O157・VT1+VT2 2名 O26・VT1 1名)

・四類感染症---報告はありません

・五類感染症---ジアルジア症 1名(推定感染地域: ネパール)

風しん 1名(病型: 臨床診断例、ワクチン接種歴: 1回目有り・2回目不明、年齢: 4歳)

腸管出血性大腸菌感染症の平成24年6月11日現在の届出数は6名で、昨年の同時期の届出数(10名)よりやや少なくなっています。性別では、男性4名、女性2名です。診断の類型は患者5名、無症状病原体保有者1名です。また、届出保健所管内別では、草津4名、東近江2名です。

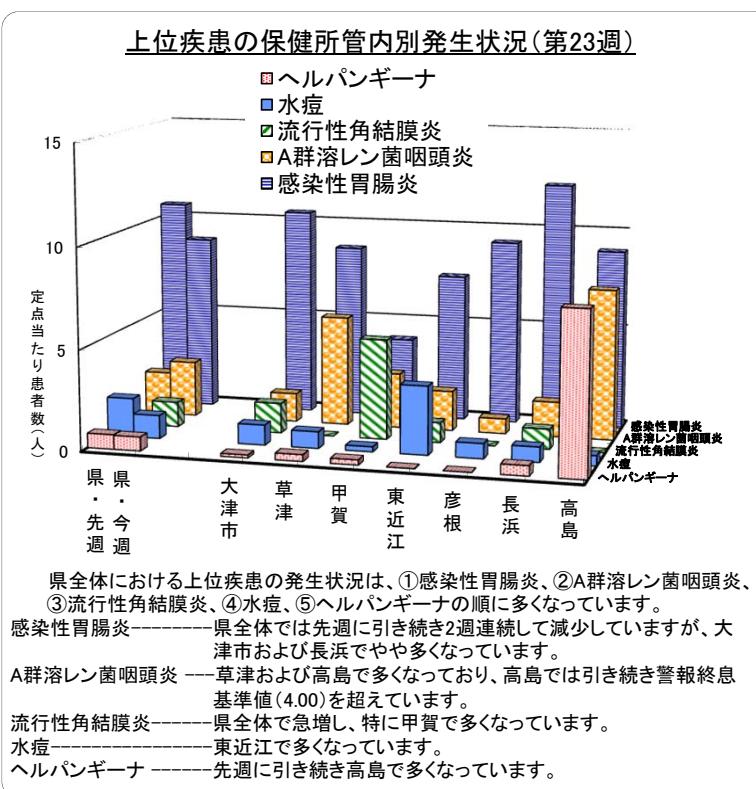
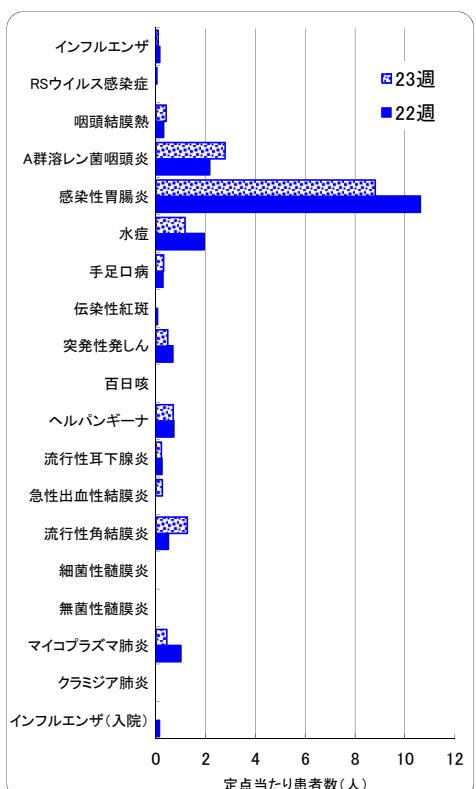
## ★定点把握の対象となる五類感染症の疾患別発生状況(先週との比較、定点当たり患者数)

下記グラフに示す19疾患の患者報告数は、先週(565名)より減少し、今週は496名となっています。特に、感染性胃腸炎および水痘で先週より大幅に減少しています。今週、増加した疾患はA群溶レン菌咽頭炎、流行性角結膜炎等で、減少した疾患はインフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、マイコプラズマ肺炎等です(週別発生状況については、疾病別定点当たり患者数のグラフ参照)。

また、インフルエンザ入院サーベイランスにおける、インフルエンザの入院患者の届出はありませんでした。

「感染症発生動向調査に基づく流行の警報・注意報システム」によると、警報および注意報の発生基準値を超えている疾患および保健所管内は下記のとおりです。

警 報	A群溶レン菌咽頭炎	(警報開始基準値 8.00、警報終息基準値 4.00)	高島保健所管内
	ヘルパンギーナ	(警報開始基準値 6.00、警報終息基準値 2.00)	高島保健所管内
	急性出血性結膜炎	(警報開始基準値 1.00、警報終息基準値 0.10)	大津市保健所管内



## 1. 全数報告感染症(一類～五類)の累積報告数

滋賀県内の医療機関において、感染症法で定められている一～四類および五類感染症に該当する患者を診断した医師は、保健所に届出ることになります。このことを全数報告といい、滋賀県内で発生している感染症法で定められた一～四類および五類感染症等を把握することができます。

感染症類型	疾患名	平成24年累積報告数		平成23年累積報告数 <sup>(*1)</sup>		平成22年累積報告数 <sup>(*2)</sup>	
		滋賀 (23週)	全国 <sup>(*3)</sup> (22週注)	滋賀	全国 <sup>(*3)</sup>	滋賀	全国 <sup>(*3)</sup>
一類感染症	報告なし	0	0	0	0	0	0
二類感染症	結核	124	11,802	338 <sup>(*4)</sup>	31,467	251	26,866
三類感染症	コレラ	0	2	0	12	0	11
	細菌性赤痢	0	100	5	299	2	235
	腸管出血性大腸菌感染症	6	432	71	3,938	66	4,134
	パラチフス	0	9	0	23	1	21
四類感染症	E型肝炎	0	61	0	61	0	66
	A型肝炎	1	87	0	176	3	347
	オウム病	0	4	0	13	1	11
	つつが虫病	1	129	1	461	2	407
	デング熱	0	54	1	104	2	244
	マラリア	2	28	0	78	0	73
	レジオネラ症	2	280	12	819	10	751
五類感染症	アメーバ赤痢	6	342	2	814	7	843
	ウィルス性肝炎	0	89	1	249	3	221
	急性脳炎	3	196	1	259	0	242
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	73	2	136	2	172
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	121	2	198	3	122
	後天性免疫不全症候群	4	542	6	1,523	1	1,553
	ジアルジア症	1	22	1	68	1	77
	梅毒	0	341	6	827	9	621
	破傷風	0	36	1	114	0	106
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	33	0	73	2	120
	風しん	5	266	2	374	5	87
	麻しん	2	133	1	443	1	447
動物の感染症	細菌性赤痢(サル)	0	1	9	37	0	59

注：23週の全国累積報告数については、次週の滋賀県感染症情報(SIDR)に掲載します。

\*1：感染症発生動向調査事業年報暫定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月現在)。

\*2：感染症発生動向調査事業年報確定数(国立感染症研究所感染症情報センター、平成24年3月)。

\*3：全国の累積報告数は、滋賀県で報告された疾患を対象としています(国立感染症研究所感染症情報センター提供資料参照)。

\*4：平成23年分として、第14週に追加報告が1件ありました。

## 2. 定点把握の対象となる五類感染症の週別および保健所管内別発生状況

感染症発生動向調査事業に係る報告のために、滋賀県が指定した「指定届出機関」を定点医療機関(定点)といい、その定点から報告される感染症の発生状況を示します。また、定点当たり患者数とは、一週間を単位として一ヵ所の定点から何人の患者が報告されているかを示したものです。(患者報告数=定点当たり患者数×定点数)

### (1) 疾病別・週別発生状況(平成24年第18週～23週、4/30～6/10)

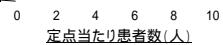
定点区分	定点数	疾患名	定点当たり患者数(前週より増加 前週と同じ 前週より減少)						週				
			18週	19週	20週	21週	22週	23週	週				
			4/30～	5/7～	5/14～	5/21～	5/28～	6/4～	19	20	21	22	23
インフルエンザ	53	インフルエンザ	2.23	1.06	0.42	0.38	0.15	0.09					
小児科	32	RSウイルス感染症	0.09	0.19	0.13	0.03	0	0.03					
		咽頭結膜熱(ブルー熱)	0.06	0.31	0.22	0.19	0.31	0.41					
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.81	2.03	1.91	2.94	2.16	2.78					
		感染性胃腸炎	6.50	10.66	10.94	11.34	10.63	8.81					
		水痘	0.47	1.25	1.31	1.31	1.94	1.16					
		手足口病	0.09	0.09	0.09	0.25	0.28	0.31					
		伝染性紅斑(リンゴ病)	0.06	0	0	0.09	0.06	0					
		突発性発しん	0.34	0.66	0.91	0.53	0.69	0.47					
		百日咳	0.03	0.03	0	0.03	0	0					
眼科	8	ヘルパンギーナ	0	0.06	0.22	0.34	0.72	0.69					
		流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	0.16	0.25	0.19	0.09	0.25	0.22					
基幹	7	急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0					
		流行性角結膜炎	0	0.25	0.25	0.50	0.50	1.25					
		細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
		無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0					
		マイコプラズマ肺炎	0.29	0	0.29	0.43	1.00	0.43					
		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0					
		インフルエンザ(入院) <sup>*</sup>	0.43	0	0.14	0	0.14	0					

\* : 平成23年9月5日からインフルエンザ入院サーベイランスが開始されたことに伴い、基幹定点からの報告数(定点当たり患者数)を掲載

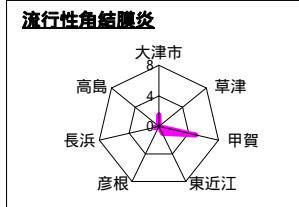
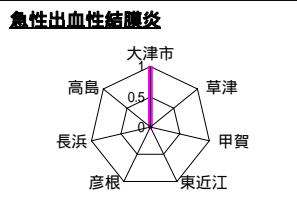
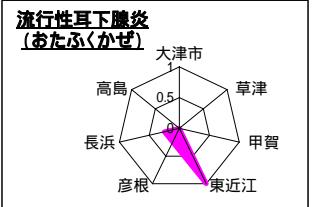
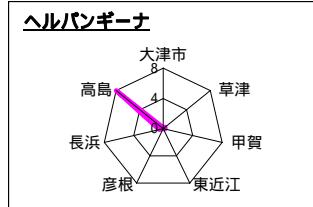
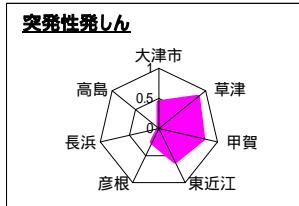
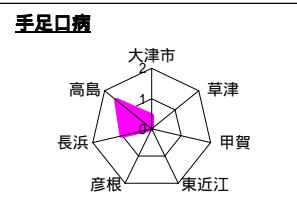
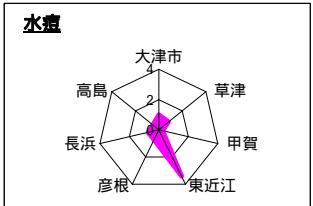
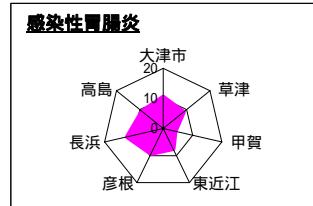
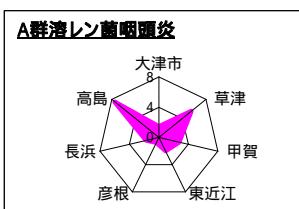
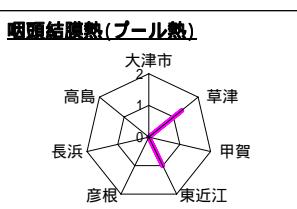
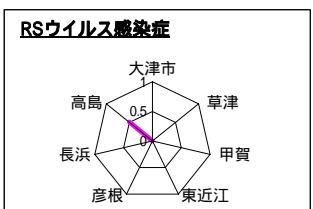
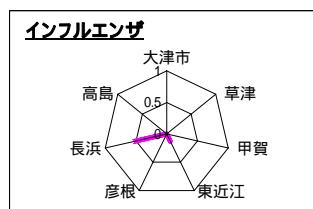
## (2) 疾病別・保健所管内別発生状況(第23週、6/4~6/10)

**赤・太字** は警報発生基準値(開始基準値または終息基準値)を超えてい

は注意報発生基準値を超えています。



### 疾患別・保健所管内別発生状況(定点当たり患者数)



### (3) その他

疾患別・保健所管内別発生状況における、今週の発生状況は下記のとあります。

インフルエンザ----- 定点当たり患者数は先週よりさらに減少し、0.09となっています。保健所管内別では、東近江および長浜から報告されています。

咽頭結膜熱-----先週と同様、草津および東近江保健所管内から報告されています。また、草津では先週より大幅に増加しています。

A群溶レン菌咽頭炎----- 大津市保健所管内以外で先週より増加しています。また、県全体の年齢別発生状況は、各年齢層から報告されていますが、3~6歳でやや多くなっています。

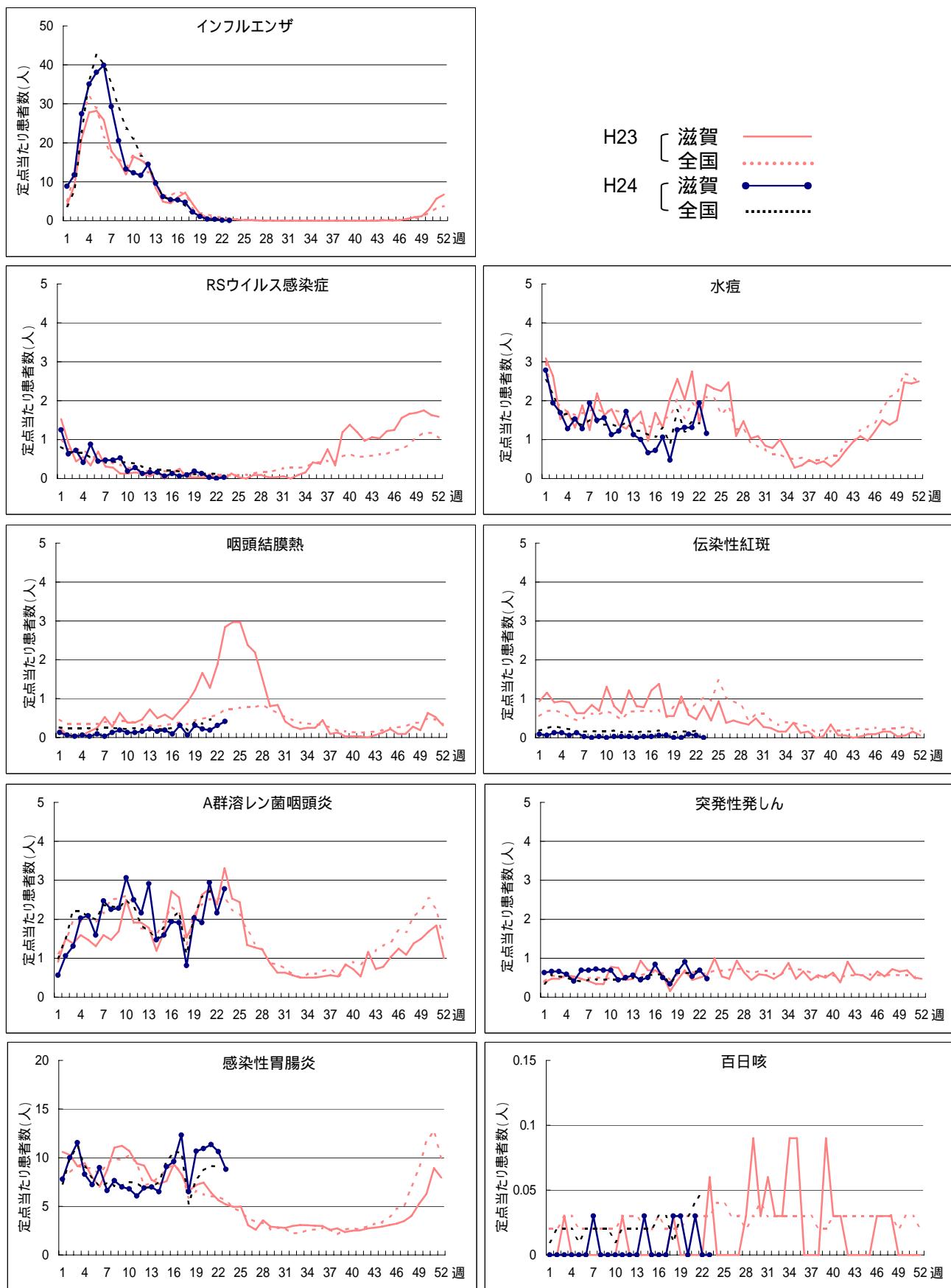
感染性胃腸炎----- 高島保健所管内以外では、先週より減少しています。

水痘-----大津市、草津および東近江保健所管内でやや多くなっています。

ヘルパンギーナ----- 高島保健所管内で先週よりさらに増加し、警報終息基準値(2.00)を超えていました。

流行性耳下腺炎----- 東近江保健所管内で、先週より大幅に増加しています。

## 疾病別定点当たり患者数(平成24年第23週、H24.1.2～H24.6.10)



[トップページに戻る](#)

**疾病別定点当たり患者数**  
 (平成24年第23週、H24.1.2～H24.6.10)

H23 滋賀  
 全国  
 H24 滋賀  
 全国

